

令和2年度補助金評価表（令和元年度交付分）

事務事業名	森林整備事業補助金（水源保全基金）		
担当所属	農林水産課	連絡先	092-332-2088

【事務事業基本情報】

区分	②奨励・支援的事業補助		
該当例規等	糸島市林業振興事業補助金交付規程		
基本目標	基本目標7__地域資源を生かした産業創出のまちづくり		
政策	政策1__農林水産業の振興		
施策	施策④__林業生産基盤や生産条件を整備し、担い手の育成と林業の成長産業化を図る		
補助期間	令和元年度	まで	

【事業概要・指標】

事業概要	成果指標
<p>【目的】 林野の林業的利用の高度化と生産向上を促し、林業の近代化と所得の増大を図る。 木材価格の長期低迷により林業経営の採算性が悪化し、森林所有者の林業に対する関心は低下しており、森林整備の費用負担が軽減されることで間伐等の森林整備が進み、これにより、森林の持つ水源涵養機能等の多面的機能の向上も図ることができる。 森林の機能（木材・水源・山災・快適・保健）別に区域を糸島市森林整備計画で設定しており、特に水源涵養機能が高い森林を整備し公益的機能の向上を図る。 糸島市森林整備計画は、森林法に基づき、（政府）森林・林業基本計画⇒（農林水産省）全国森林計画⇒（都道府県）地域森林計画⇒（市町村）森林整備計画</p> <p>【対象事業】 市内における間伐などの森林整備事業で、福岡県造林事業補助金等の交付規程の規定に基づく補助金等を受けて実施される事業（福岡県造林事業補助金事業等）</p> <p>【対象者】 福岡県造林事業補助金事業等を行う者</p>	<p>① 間伐等の森林整備された面積</p>

【改革案】

今後の実施方向性	現状維持
間伐等による森林整備を行うことにより、森林環境の向上を図るとともに、森林の有する公益的機能（水源涵養、土砂災害防止など）も高めるために必要な事業であり、今後も継続すべきである。	

【指標の推移】

	単位	H31年度実績	目標値
成果指標	① ha/年	3.47	9.00

【投入コスト・人員】

年度	単位	令和元年度決算	令和2年度予算
トータルコスト	円	303,277	800,000

【環境変化等】

開始時の周辺環境・課題	間伐等による森林整備を行うことにより、森林環境の向上を図り、水源涵養機能等の多面的機能も高めることを目的に造林事業等を行う者に対し、補助金を交付する事業を開始した。
現状の周辺環境・課題	林業の不振などにより長期間手入れがなされず、森林の有する公益的機能（水源涵養、土砂災害防止など）が低下することが考えられるため、その機能を高めるとともに林業従事機会拡大のため、必要がある。
今後の予想される周辺環境・課題	林業・木材産業は、厳しい状況が続くことが考えられることから、森林所有者の負担を軽減し、森林環境の向上を図り、森林の有する公益的機能（水源涵養、土砂災害防止など）を高めるため、また、林業従事機会拡大のため、継続して補助金を交付する必要がある。
市民及び議会等の意向・ニーズの変化等	森林環境の向上を図り、森林の有する公益的機能（水源涵養、土砂災害防止など）を高めることで、市民全体がその恩恵を受けることから、ニーズは高いと考える。